



平成21年3月23日

各 位

会 社 名 名古屋鉄道株式会社
代表者名 取締役社長 木下 栄一郎
(コード番号 9048 東証・名証第一部)
問合せ先 広報宣伝部長 利光 克仁
(TEL. 052-588-0813)

「名鉄グループ新・中期経営計画」の策定について

名古屋鉄道は、この度、2009年度から2011年度までの3ヵ年計画である「名鉄グループ新・中期経営計画」を策定いたしましたので、お知らせ致します。

名鉄グループでは、2006年度から今年度までの「名鉄グループ新3ヶ年経営計画」において、「安定的利益の維持・向上」体制の確立を基本方針に、「鉄道サービスの向上」、「沿線不動産の再開発」、「グループ各事業の基盤強化」、「グループ経営体制の強化」などの諸施策を推進してまいりました。

その結果、鉄道輸送人員が微増で推移するなどの効果をあげることができましたが、未曾有の景気悪化という厳しい経営環境もあり、今年度末における数値目標の達成については、残念ながら困難な状況であります。

2009年度からの「名鉄グループ新・中期経営計画」につきましては、現計画に引き続いて、危機感を持って経営改革に取り組み、長期的な展望を拓く為の3年間と位置付けてまいります。

その為に、「交通ネットワークの充実」、「生活サービス・都市開発事業の強化」、「グループ経営改革の推進」の3項目を重点テーマとして、厳しい経営環境下でも乗り切れる強靱な経営体質を志向した諸施策を実行してまいります。

名鉄グループ新・中期経営計画（2009年度～2011年度）について

<1> 新・中期経営計画の基本方針

厳しい経営環境の中、『危機感』を持ってグループの経営改革に取り組み、重点事業を強化し、『展望』を拓く

<2> 新・中期経営計画の重点テーマ（3項目）

1. 交通ネットワークの充実

2. 生活サービス・都市開発事業の強化

3. グループ経営改革の推進

<3> 重点テーマ各項目における諸施策

1. 交通ネットワークの充実

ICカードの導入などを通して、名古屋都市圏におけるシームレスな交通ネットワークの形成を目指すとともに、地域との連携を強めて利用促進を図ります。

(1) 旅客サービスの向上

- ①鉄道・バス・タクシー・駐車場に対するICカードの導入と利用拡大
 - ・名古屋鉄道、名鉄バスなどにおける導入（2010年度）
 - ・名古屋市交通局など他事業者との共通利用や付加価値の向上
 - ・沿線駅パーク&ライド駐車場（名鉄協商パーキング）における利用開始とその拡大
 - ・名鉄タクシーグループへの導入準備

②列車運行情報サービスの充実

③接客サービスの更なる向上

(2) 高齢化や環境重視への対応

- ①駅のバリアフリー化とノンステップバス導入の継続
 - ・駅のバリアフリー化対象全75駅の完了（2010年）
 - ・名鉄バスのノンステップバス導入率30%*達成（2010年） ※国の目標値

- ②省エネルギー型の車両（鉄道・バス）への更新
 - ・鉄道の省エネルギー車両導入率 80%以上の達成
 - ▼瀬戸線 4000 系、エコハイブリッドバスの継続導入 など

(3) 地域との連携強化

- ①沿線都市観光キャンペーンの展開
- ②インバウンドや着地型観光[※]への対応
 - ・鉄道やバスを活用した商品企画や情報提供
 - ※都市部の旅行会社などが企画募集する「発地型」に対し、地域が観光メニューを用意し、観光客が参加する形態
- ③環境優位性のPRによるマイカーからの利用転換の促進
 - ・行政や地元企業、集客施設などとの連携

(4) 将来の成長に向けた基盤整備

- ①常滑・河和線太田川駅付近、名古屋本線知立駅付近などの高架化工事の推進
- ②三河線（知立～豊田市間）における複線化の推進
 - ・将来の全線複線化を目標とする部分複線化

(5) 輸送体制の効率化

- ①輸送コストの低減
 - ▼鉄道のワンマン運転化の拡大 など
- ②鉄道・バスの地方路線経営に関する地元自治体との協議や検討
 - ▼広見線（新可児～御嵩）、西尾・蒲郡線（西尾～蒲郡）、地方路線バス など

2. 生活サービス・都市開発事業の強化

沿線を中心にグループの総合力を発揮して、買物や旅行、健康増進などに関するサービスを向上させます。また、名駅地区などにおける都市開発の推進に努めます。

(1) 沿線を中心とする生活サービスの向上

- ①ICカードにあわせた電子マネーの導入と展開
 - ・加盟店開拓による利便性の向上
 - ▼駅構内店舗、名駅や沿線の商業施設・商店街 など

②拠点駅における商業開発

- ・生活利便型の商業・サービス店舗を集めた商業施設開発やリニューアル
▼名鉄岐阜駅、鳴海駅、豊田市駅 など

③名鉄病院の機能向上

- ・名鉄病院をコアとしたヘルスケア事業の検討

④健康や学びに対応する時間消費型サービスの充実

- ・沿線の体験型レジャー施設の充実
▼南知多ビーチランド「イルカスタジアム」のリニューアル、
リトルワールド「トルコ イスタンブールバザール」の新設 など
- ・ハイキングや日帰りバスツアーの拡充
- ・アクティブ・シニア向け上質コンセプトの新商品企画 など

(2) 名駅地区などにおける都市開発の推進

①名駅地区における保有資産の有効活用

- ▼第二中経ビル・大商ビル建替え、名駅三丁目用地の有効活用、
名駅一丁目地区共同開発 など

②駅周辺再開発に向けた準備

- ・名鉄名古屋駅・名鉄バスセンターの機能や流通・ホテル事業の方向性検討

③名駅地区まちづくり活動への取組み強化

④神宮前駅前の再開発

3. グループ経営改革の推進

現・中期経営計画に引き続き、各事業について、経営体制の見直しと効率化を推進して収益力の向上を図ります。あわせて、グループ一体となった経営体制の強化と人材育成に力を注ぎます。

(1) 各事業の経営体制の見直し

- ・トラック部門における事業運営の効率化
- ・グループ流通事業における収益構造の改善
- ・沿線内ホテルの連携強化
- ・名古屋地区タクシー事業の再編
- ・グループ不動産事業の体系化（開発から運営・管理まで）

(2) 効率化の推進・強化

- ・グループ全体の不動産についての有効な管理と活用
- ・グループ全体の物件費を中心とした経費の削減
- ・業種単位での業務の標準化
 - ▼トラック、タクシー、ホテル など
- ・経理・人事・給与シェアードの一層の推進

(3) グループ一体となった経営体制の強化

- ・グループ経営改革委員会（仮称）の設置
 - ▼グループ事業の経営再建のためのチームの編成 など
- ・連結経営情報の共有化・迅速化
- ・グループ本社役職員による主要会社への経営参加
- ・グループ営業推進についての組織強化

(4) グループ規模での人材育成

- ・マーケット志向で事業推進できる人材の育成
 - ▼選抜研修、グループ外への派遣 など
- ・グループ人事交流の促進
 - ▼若手人材のジョブローテーション、グループ内同業種・同職種の人事交流
- ・各社の人材確保の再構築とグループ本社によるその支援

<4> 数値目標（連結）

厳しい経営環境においても、下記の目標を達成いたします。

●当期純利益 150億円
(参考) 08年度の当期純利益見込み 110億円

●有利子負債 6,800億円
(参考) 08年度の有利子負債見込み 7,200億円

※09年3月末における対象会社は、計170社の見込み
(名古屋鉄道1社、連結子会社152社、持分法適用会社17社)

以上

<参考> 名古屋鉄道のこれまでの経営計画（85年度以降）

- | | |
|-----------------|----------------------|
| ● 85年度～89年度（5年） | アクティブ90 |
| ● 90年度～94年度（5年） | ステップ21 |
| ● 95年度～99年度（5年） | ジャンプ21 |
| ● 00年度～02年度（3年） | ニューステッププラン |
| ● 03年度～05年度（3年） | 名鉄グループ新中期経営計画 |
| ● 06年度～08年度（3年） | 名鉄グループ新3ヶ年経営計画（現行計画） |

本資料の情報のうち、過去の事実以外のものは将来の見通しであり、リスクや不確実性を含んだものです。実際には、様々な要因により異なる結果となる場合があります。